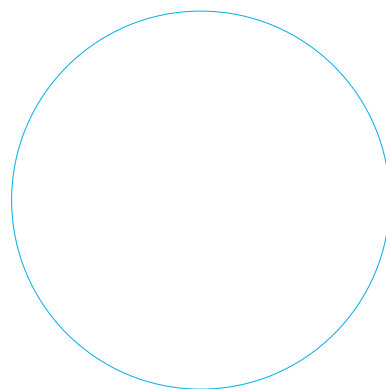


ステッカー丸 Φ50mm

● 印字範囲 50×50mm



◎絵柄は制作レイヤーか新しいレイヤーで、ダイカットラインはダイカットラインレイヤーで作業をお願いします。

◎ステッカー周辺に白い部分を出したくない場合は、塗り足しを作成してください。

塗り足しは、ダイカットラインの外側に3mm伸ばしてください。

◎全て4色（CMYK）または1色（K）で作成してください（RGB・特色データ不可）。

◎文字はアウトライン化してご入稿ください（書式メニュー→アウトラインを作成）。

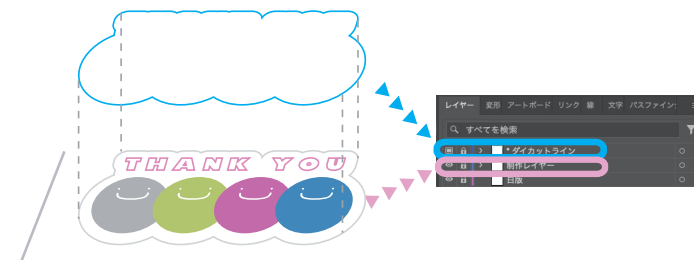
◎入稿用データは別名保存し、開いたバージョンで保存をお願いします（cs5で作成した場合は、cs5で保存）。

※ダイカットラインは、ステッカーの型やサイズに合わせて適時変更してください。

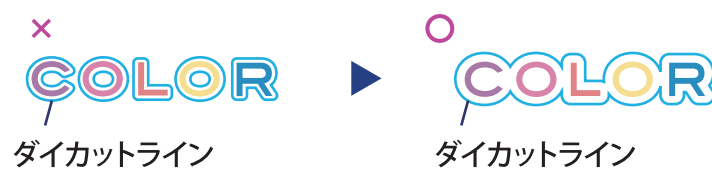
■ダイカットラインの作成について

1. ダイカットラインレイヤーで作成します。

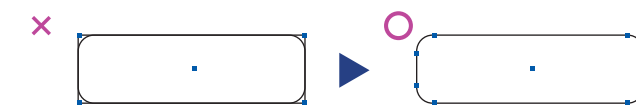
シアン100%の1色でお作りください（C 100%）



2. 絵柄の周囲を一筆書きになるように「ひと続きの線」で作成してください。



ダイカットラインは、ライン（パス）自体の形が切り抜きたい形になっている必要があります。「アピアランス」や「効果」などの機能で変型しているライン（パス）は見た目と異なる仕上がりになりますので、ダイカットラインには使用しないでください。



3. ダイカットラインは文字やイラストなど切れて困るオブジェクトから1mm以上の間隔をあけてください。背景のあるステッカーは「塗り足し」が必要です。
※塗り足しはダイカットラインより背景を大きく作成してください。

ダイカットラインと絵柄の間隔：1mm以上



特に小さいステッカーの場合は、カットの若干のズレでも、ズレの目立った仕上がりになる可能性があります。カットラインに少し余裕をとることが、ステッカーをデザインする際のコツです。

■白版の作成について

1. 白引きが必要な場合、白版レイヤーで作成します。

スウォッチ内の「白版」スウォッチを使用し、フルカラーデータより0.2mm小さくして作成してください（K0%の内側に揃えた線 0.2mmで作成してください）。▶

※画像の場合は、画像データをK100%で作成し、白版レイヤーに配置してください。

